

Fund Report

欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信/海外/その他資産 (バンクローン) ※課税上は株式投資信託として取扱われます。

一欧州バンクローン市場の運用状況について一

日頃より、『欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)』をご愛顧賜り誠にありがとうございます。

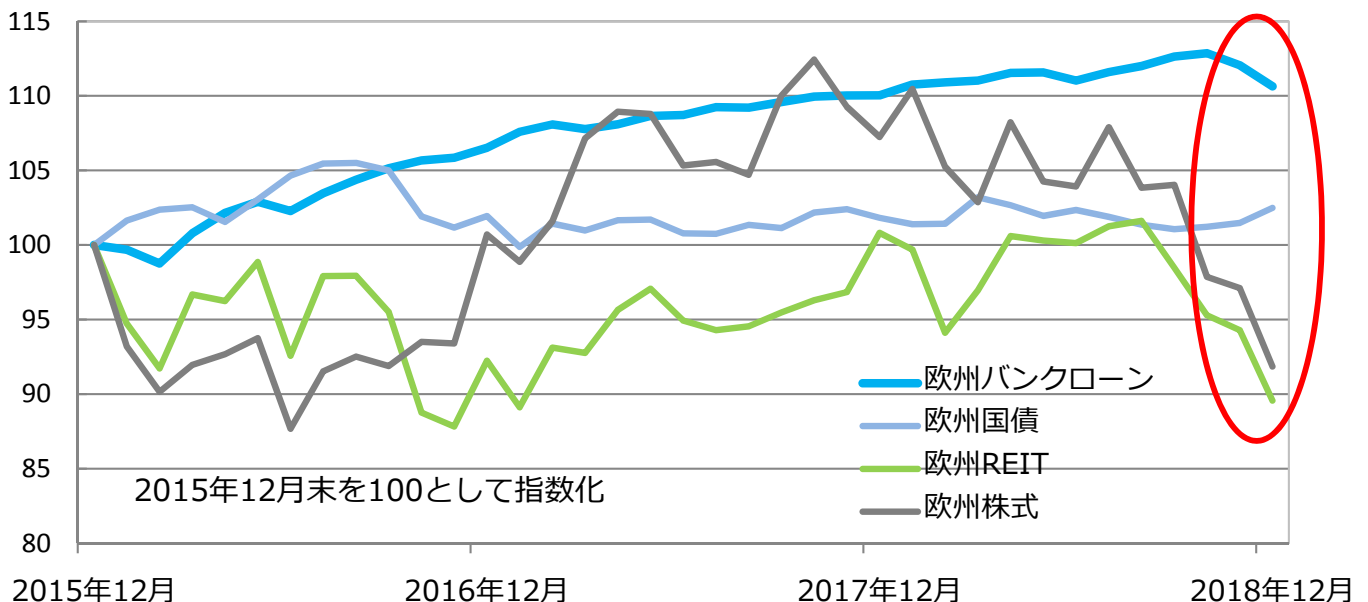
2018年10月以降の世界の金融市場は、米中貿易摩擦激化による世界景気減速懸念やグローバル企業の業績悪化懸念などを背景に大きく下落しました。そのような中で、欧州バンクローン市場も年末にかけて下落しました。ただし、この下落は年末の資金需要から機関投資家などが、安定的なパフォーマンスをあげていた欧州バンクローンの比較的格付の高い銘柄を売却したことが要因となっています。

しかしながら、世界景気減速懸念がある中でも、欧州バンクローンのデフォルト率は引き続き低位で推移していることから、今後、相対的に利回りが高いことが再び注目され、行き過ぎた売却の反動もあって欧州バンクローン市場は上昇に向かうと見込んでいます。

本レポートでは、昨年後半の欧州バンクローン市場の動きと今後の見通しについて報告させていただきます。

欧州各資産の推移 (月次)

(2015年12月末～2018年12月末)



9ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

1 / 10

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

資産運用のベストパートナー、だいわすみぎん



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

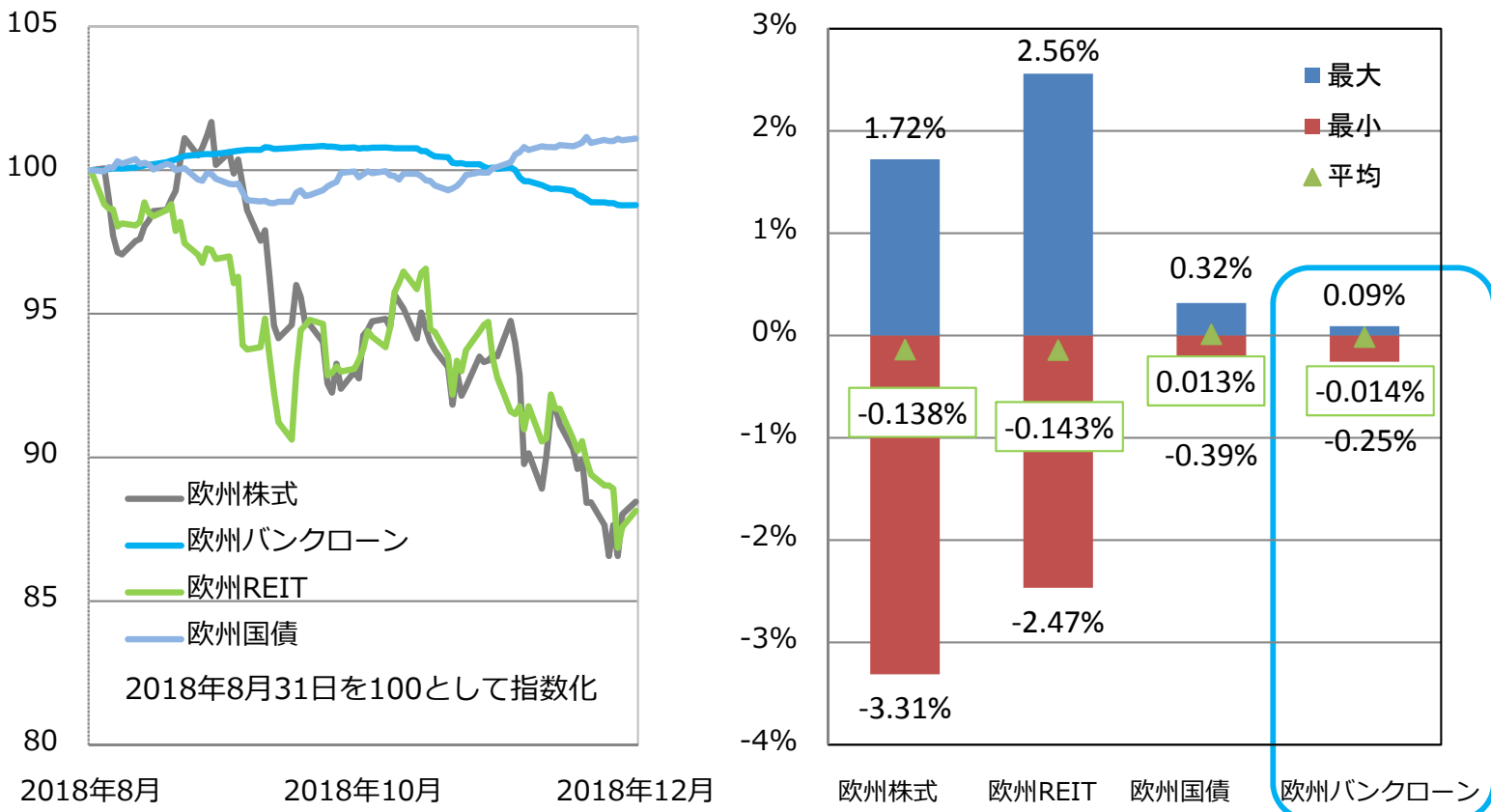
Fund Report

欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

① 欧州バンクローン市場の動向

2018年10月以降に緩やかに下落

欧州各指数の推移及び日次リターンの最大・最小・平均 (2018/8/31~2018/12/31)



欧州の各指数の動きをみると2018年10月以降、株式を中心に下落しました。米中貿易摩擦激化の影響を受けた世界経済の減速懸念、グローバル企業の業績悪化懸念、米国の金融正常化に向けた引き締めが継続されたことなどが背景です。

欧州バンクローンについては、上記右グラフの日次リターンの最大・最小・平均を他資産と比較してみても、概ね安定的に推移したことが確認できますが、緩やかな下落基調を辿りました。

(本レポートで使用したインデックス)

欧州バンクローン：クレディ・スイス・ウェスタン・ヨーロッパ・レバレッジド・ローン・インデックス

欧州株式：ユーロストックス50指数

欧州国債：FTSE欧州国債インデックス

欧州REIT：FTSE EPRA/NAREIT Developed Europe Index

※いずれの指数も現地通貨ベース。Bloombergのデータをもとに大和住銀投信投資顧問作成

次ページに続きます。

9ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

2 / 10

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

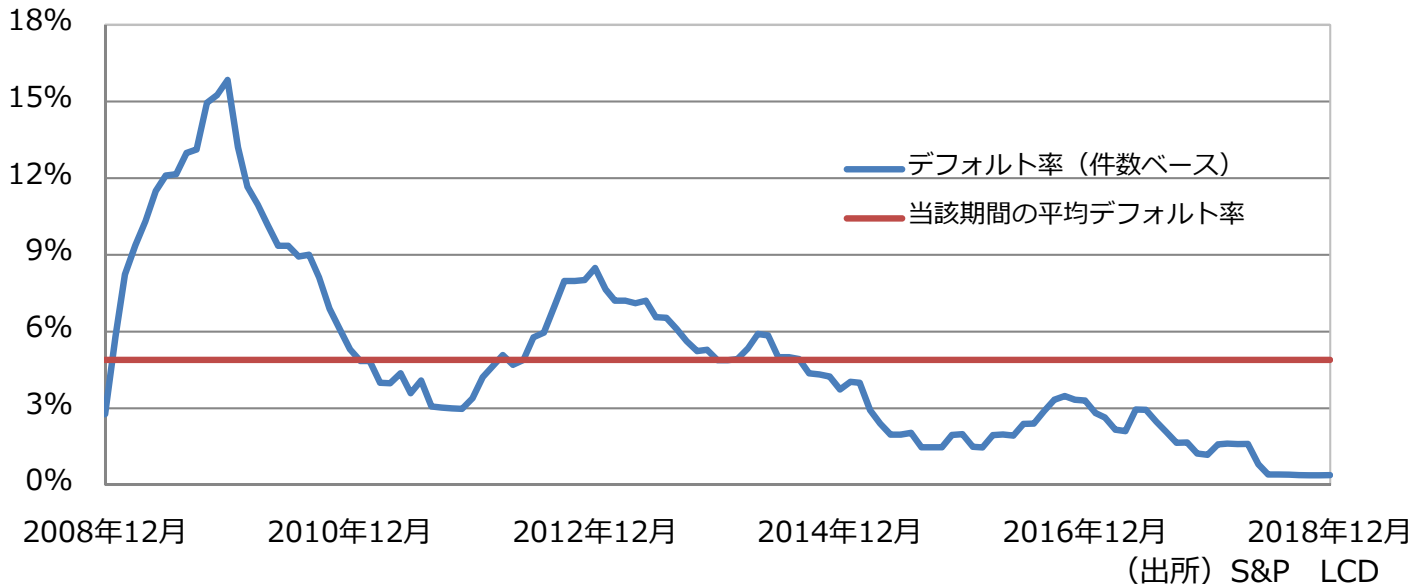
Fund Report

欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

② 欧州バンクローンのデフォルト率は低位にて推移

欧州バンクローンのデフォルト率（件数ベース）

（2008年12月末～2018年12月末）



上のグラフでも確認できるように、欧州バンクローンのデフォルト率（件数ベース）は低位で推移しています。当該期間の平均デフォルト率とのかい離をみても、現在のクレジット環境が安定していることが確認できます。

インベスコ社は、クレジット環境が安定しているにも係わらず欧州バンクローンの価格が大きく下落したのは、年末の資金需要から機関投資家などが、より流動性や流通規模の大きいBB格のバンクローンをCCC格以上に多く売ったことが要因と見ています。

欧州バンクローン月次リターン
（2018年12月）

格付	市場構成比率	リターン
BB	約26%	▲1.63%
B	約57%	▲1.28%
CCC	約2%	▲1.44%
全格付		▲1.26%

（出所）インベスコ

これは、2018年12月の欧州バンクローンの格付別リターンにおいてBB格が▲1.63%なのにに対し、より格付の低いCCC格が▲1.44%と、通常とは異なってリターンが逆転していることが示しており、今後、行き過ぎた売却が一時的なものと市場で確認されれば、大幅な下落の反動で欧州バンクローン市場は上昇に向かうと見込んでいます。

次ページに続きます。

9ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

3 / 10

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

③今後の見通し

当面はボラタイルな市場環境を見込むものの、中長期的な成長を期待

欧州圏の経済は緩やかな拡大基調に回帰すると見込まれています。しかし、根強い政治リスクなどからその期待が削がれつつあります。一方、発行体企業のファンダメンタルズ（基礎的条件）は依然として堅固なことから、欧州バンクローンのデフォルト率は過去平均よりも低位で推移すると予想されます。

こうした中、ECB（欧州中央銀行）による金融政策やリスク評価に変更は示されず、引き続きEURIBOR（欧州銀行間取引金利）はマイナスで推移する見通しです。発行時におけるスプレッド水準の拡大によって利回りがより魅力的となり、機関投資家などからの需要は引き続き良好な見通しです。

欧州圏の政治情勢、貿易政策に対する懸念、原油価格の動向、金融政策の過度な引き締めなどはリスク要因として考えられますが、バンクローンは相対的に価格変動性が低く担保を有しているという観点から中長期的には魅力的であると考えています。

2019年欧州のイベントスケジュール

日程	注目度	内容
1月24日		ECB理事会
2月1日		日欧経済連携協定（EPA）発効
3月7日		ECB理事会
3月21日～22日		EU首脳会議
3月29日	◎	英国がEUから離脱（Brexit）
4月10日		ECB理事会
5月23～26日		欧州議会選挙
5月26日	○	ベルギー総選挙、フィンランド総選挙、独ブレメン特別市議会選挙
6月6日		ECB理事会
6月20日～21日		EU首脳会議
7月25日		ECB理事会
9月12日	◎	ECB理事会
10月	○	ギリシャ総選挙期限
10月15日		EU各国の欧州委員会への予算提出期限
10月17日～18日		EU首脳会議
10月24日	○	ECB理事会
10月31日	○	ECB ドラギ総裁任期
12月12日		ECB理事会
12月12日～13日		EU首脳会議

各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

当ファンドではリスク調整後の相対価値を重視しながら、引き続き、発行体のファンダメンタルズに対する詳細な調査を行い、個々のローンなどのバリュエーション（投資価値評価）を考慮したバランスの取れたポートフォリオの運営を行っていく所存です。

※当コメントは、資料作成時点における市場環境もしくはファンドの運用方針等について、運用担当者（ファンドマネジャー他）の見方あるいは考え方を記載したもので、当該運用方針は変更される場合があり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。また、将来の運用成果等を約束するものでもありません。

9ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

4/ 10

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

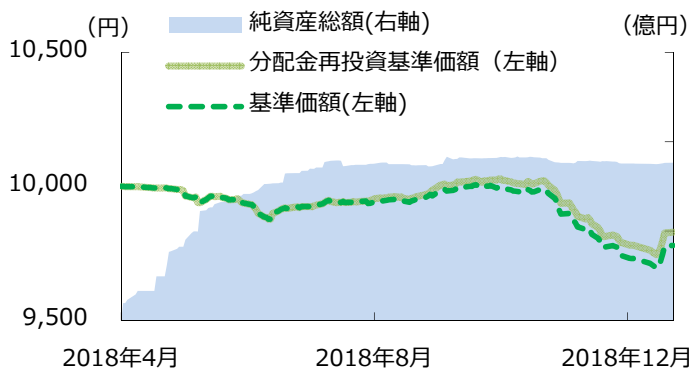
Fund Report

欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

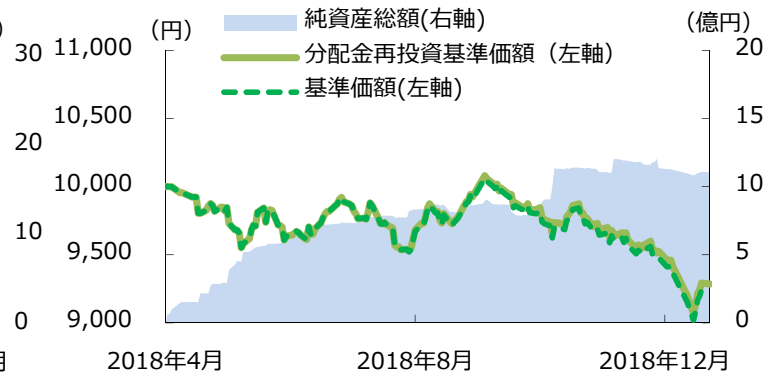
＜基準価額・純資産総額等の推移

設定日（2018年4月24日）～ 2019年1月15日＞

■基準価額等の推移（為替ヘッジあり）



■基準価額等の推移（為替ヘッジなし）



■基準価額・純資産総額

基準価額	9,780円
純資産総額	17.6億円

■基準価額騰落率

設定来	-1.7%
-----	-------

■分配金

設定来	50円
-----	-----

■基準価額・純資産総額

基準価額	9,237円
純資産総額	11.0億円

■基準価額騰落率

設定来	-7.2%
-----	-------

■分配金

設定来	50円
-----	-----

※基準価額は信託報酬控除後のものです。※分配金再投資基準価額および騰落率は、信託報酬控除後の基準価額に対して、税引前分配金を決算日に再投資した修正基準価額をもとに算出、表示。※騰落率は実際の投資家利回りとは異なります。※上記データは過去の実績であり、将来の運用成果をお約束するものではありません。※分配金は1万口あたりの金額（税引前）。※あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではなく、分配金が支払われない場合もあります。

Fund Report

欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

<ファンドの目的>

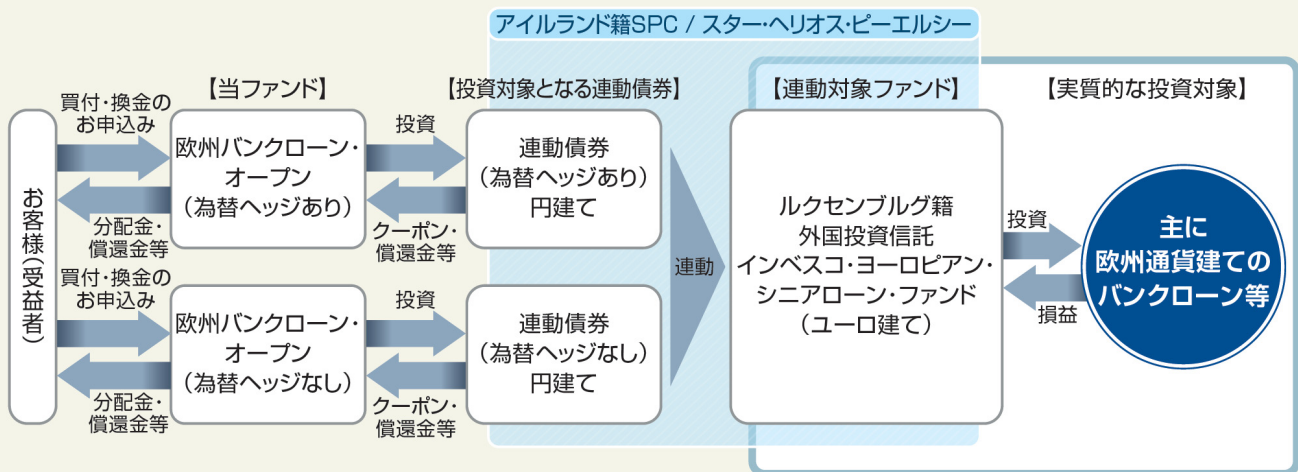
当ファンドは、連動債券への投資を通じて、主として欧州通貨建てのバンクローン等を実質的に投資することで、信託財産の成長を目指して運用を行います。

<ファンドの特色>

- 主として欧州通貨建てのバンクローン等を実質的に投資します。
 - 主に欧州通貨建てのバンクローン等を実質的に投資することで、インカム収益を中心としたリターンを獲得を目指します。※当ファンドにおけるバンクローンには、担保付債券等が含まれます。
 - バンクローン等への実質的な投資は、ルクセンブルグ籍外国投資信託「インベスコ・ゾディアック・ファンズー インベスコ・ヨーロッパ・シニアローン・ファンド」(以下、「連動対象ファンド」といいます。)の投資成果を反映する仕組みの円建て債券(以下、「連動債券」といいます。)を通じて行います。
 - 連動債券への投資比率は、原則として高位に維持します。
 - バンクローン等の実質的な運用は、インベスコ・シニア・セキュアード・マネジメント・インクが行います。

当ファンドの仕組み

連動債券への投資を通じて、主に欧州通貨建てのバンクローン等を実質的に投資します。



- 連動債券への投資を通じて、連動対象ファンド(主に欧州通貨建てのバンクローン等に投資を行う外国籍投資信託)へ実質的に投資します。
- 連動債券(為替ヘッジあり)は、連動対象ファンドを対円で為替ヘッジした場合の投資成果を反映します。
- 連動債券(為替ヘッジなし)は、連動対象ファンドの投資成果を反映します(為替変動の影響を受けます。)
- 連動債券は、アイルランド籍の特別目的会社(SPC)であるスター・ヘリオス・ピーエルシーが発行します。スター・ヘリオス・ピーエルシーは、分別保管される資産を裏付けとして債券を発行することを主な業務としており、裏付資産は保管会社によって分別管理されています。

※投資対象となる連動債券および連動対象ファンドは将来変更になる場合があります。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

次ページに続きます。

9ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

6/ 10

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

<ファンドの特色>

前ページからの続きです。

2. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドからお選びいただけます。
 - 【為替ヘッジあり】連動対象ファンドを対円で為替ヘッジした場合の投資成果を反映した連動債券に投資し、為替変動リスクの低減を目指します。
 - 【為替ヘッジなし】連動対象ファンドを対円で為替ヘッジしない場合の投資成果を反映した連動債券に投資するため、為替変動による影響を受けます。

※販売会社によっては、一部のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。
 ※ファンドのお取扱いおよびスイッチングのお取扱いについては、各販売会社までお問い合わせください。
3. 毎月の決算日に、原則として収益の分配を目指します。
 - 決算日は毎月21日（休業日の場合は翌営業日）とします。
 - 分配対象額の範囲は、経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。
 - 収益分配金は、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決定します。ただし、分配対象額が少額な場合等には分配を行わないことがあります。
 - 将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

欧州通貨建ての資産の中で、欧州バンクローンには3つの魅力があります。

魅力
1

相対的に高い利回り

一般的に、バンクローンは投資適格未満(BB/Ba相当以下)の企業への変動金利のローンで、相対的に高い利回りが期待できます。

魅力
2

担保設定による保全性の向上

一般的にバンクローンには担保が設定されており、デフォルト時の元本回収率が高い傾向があります。

魅力
3

金利上昇に対する耐久力

バンクローンは一般的に変動金利であり、金利上昇時にはバンクローンの利子収入も増加するため、国債などの固定金利の資産と比較して金利上昇に対する耐久力があります。

※資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

9ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

7/ 10

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

Fund Report

欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

下記は投資信託における「収益分配金に関する留意事項」を説明するものであり、当ファンドの分配金額や基準価額を示すものではありません。

収益分配金に関する留意点

分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

投資信託で分配金が支払われるイメージ

投資信託の純資産

分配金

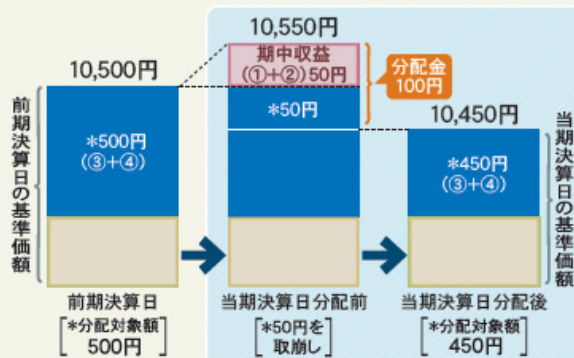
(イメージ図)

分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

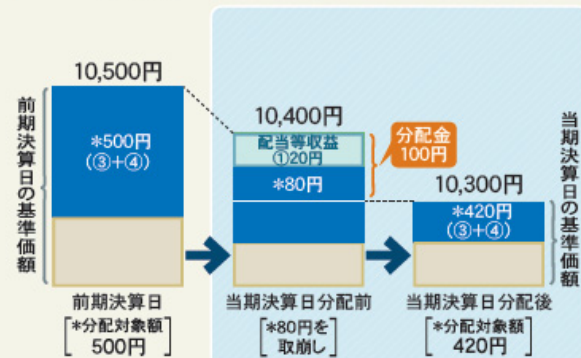
分配金が計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

(イメージ図)

前期決算日から基準価額が上昇した場合



前期決算日から基準価額が下落した場合



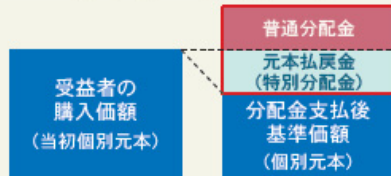
(注) 分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

※上記はイメージであり、実際の分配金額や基準価額を示唆するものではありませんのでご注意ください。

受益者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり率が小さかった場合も同様です。

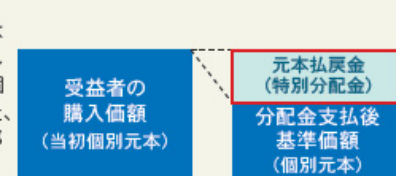
(イメージ図)

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



普通分配金: 個別元本(受益者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。

元本払戻金(特別分配金): 個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の受益者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

※詳しくは『投資信託説明書(交付目論見書)』をご覧ください。

Fund Report

欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

<投資リスク (詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)>

- 当ファンドは、連動債券を通じて実質的にバンクローンや債券(以下、「バンクローン等」といいます。)など値動きのある資産に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産は、為替の変動による影響も受けます。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
- 信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は預貯金と異なります。
- お申込みの際には、販売会社からお渡しします「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 基準価額を変動させる要因として主に、■信用リスク ■流動性リスク ■為替リスク ■金利変動に伴うリスク ■カントリーリスク ■連動債券に係るリスク ■その他のリスクがあります。ただし、上記はすべてのリスクを表したものではありません。

<ファンドの費用 (詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)>

投資者が直接的に負担する費用

- 購入時手数料 購入価額に3.24%(税抜3.0%)を上限として販売会社毎に定めた率を乗じて得た額とします。
※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)については、お申込みの各販売会社までお問い合わせください。
購入時手数料は、販売会社による商品・投資環境の説明および情報提供、ならびに販売の事務等の対価です。
- 信託財産留保額 ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用

- 運用管理費用(信託報酬) 毎日、信託財産の純資産総額に年率0.999%(税抜0.925%)を乗じて得た額とします。
運用管理費用(信託報酬)は、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。

当該ファンドの運用管理費用(信託報酬)

委託会社	年率0.30%(税抜)	ファンドの運用等の対価
販売会社	年率0.60%(税抜)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
受託会社	年率0.025%(税抜)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
連動対象ファンド	年率0.80%*	連動対象ファンドの運用報酬(連動債券に係る費用を含む)
実質的な負担	<u>年率1.799%(税込)程度</u>	—

※連動対象ファンドおよび連動債券における報酬、費用等は将来変更になる場合があります、その場合は実質的な負担は変更されることになります。

- その他の費用・手数料 財務諸表の監査に要する費用、組入有価証券売買時にかかる費用、外国における資産の保管等に要する費用等は信託財産から支払われます。
※監査報酬の料率等につきましては請求目論見書をご参照ください。監査報酬以外の費用等につきましては、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

Fund Report

欧州バンクローン・オープン (為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

＜お申込みメモ (詳しくは最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください)＞

- 信託期間 2018年4月24日から2028年4月21日(約10年)
- 購入単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 購入価額 購入申込受付日の翌々営業日の基準価額
- 換金単位 販売会社がそれぞれ定めた単位とします。
※お申込みの販売会社までお問い合わせください。
- 換金価額 換金申込受付日の翌々営業日の基準価額
- 換金代金 換金申込受付日から起算して、原則として8営業日目からお支払いします。
- 購入・換金申込 当日または翌営業日が次のいずれかに該当する場合はお申込みできません。
受付不可日
・ルクセンブルクの銀行の休業日、・英国の銀行の休業日、・米国の銀行の休業日、
・グッドフライデー ・12月24日 ・12月31日
- 決算日 毎月21日(該当日が休業日の場合は翌営業日)
- 収益分配 年12回の決算時に分配を行います。
※分配金自動再投資型を選択された場合は、税金を差引いた後自動的に無手数料で再投資されます。

＜投資信託に関する留意点＞

- 投資信託をご購入の際は、最新の投資信託説明書(交付目論見書)を必ずご覧ください。
投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の本支店等にご用意しております。
- 投資信託は、元本保証、利回り保証のいずれもありません。
- 投資した資産の価値が投資元本を割り込むリスクは、投資信託をご購入のお客さまが負うことになります。
- 投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

＜委託会社およびその他の関係法人＞

- 委託会社(ファンドの運用の指図を行う者)
大和住銀投信投資顧問株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 一般社団法人投資信託協会 一般社団法人日本投資顧問業協会

- 受託会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)
三井住友信託銀行株式会社

- 販売会社

取扱販売会社名	登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 日本投資顧問 業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商 品取引業協会
三井住友信託銀行株式会社	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○

9ページ目以降の「投資リスク」と「ファンドの費用」の内容について必ずご確認ください

10/ 10

■当資料は、ファンドの運用状況や関連する情報等をお知らせするために大和住銀投信投資顧問が作成した資料です。■当資料内の運用実績等に関する数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託は預金、保険契約ではありません。また、預金保険機構及び保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■銀行など登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。